

麻酔記録電子化へのラストチャンス
——パソコンさえあれば実現できます——

埼玉医科大学病院麻酔科 岩瀬良範
岡山ろうさい病院麻酔科 斎藤智彦(Vinp 制作)



本ワークショップに参加させて頂いて、参加者の皆様から感じることは、「自動麻酔記録は導入したいけれど、費用や技術が困難」という現実です。もちろん、モニター機器にパソコンを接続してセットアップするには、熱意とエネルギーは必要です。

しかし、バイタルサイン(HR、NIBP、SpO₂、EtCO₂、体温など)を自分で入力すれば、モニター機器との接続やセットアップは不要になります。そうです。あなたのパソコンが、そのまま「麻酔記録装置」になるのです。

こんなウソみたいな話は会場で説明しますが、少なくともソフトウェアだけは、あなたのノートパソコンにダウンロードしておいて下さい。ダウンロードは、この抄録の QR コードや paperChart ワークショップのダウンロードサイトからできます。携帯電話やスマホの QR コードリーダーで読み取って、自分の Windows パソコン(XP,7,8,10)にメールしてダウンロードして下さい。

ダウンロードしたファイルは、解凍して実行すればそのまま使用することができます。いわゆるインストール作業はありません。すべてのファイルはダウンロードしたフォルダ内に記録されるので、不要の際にはこのフォルダを消去するだけです。このファイルは、各種モニター機器とのインターフェースと詳細設定を除く paperChart のほぼすべてが含まれています。

大切な作業は、paperChart の BIN フォルダから NV.exe を起動し、「モニタ開始」ボタンを押すだけです。「バイタルサインを入力するソフト」(Vinp)が起動し、バイタルサインを入力します。データ入力は、導入が落ち着いてから一括して行うことも、リアルタイムで入力することも可能です。リアルタイムの場合は、入力のタイミングを音で知らせることもできます。

薬物投与や様々な麻酔管理の記録は、これまでの paperChart と全く変わりません。本ソフトを用いて詳細で美しく正確な麻酔記録を作成して頂くことが、我々の願いです。こうして paperChart によって作成された電子的な麻酔記録には、数多くの利点があります。

- 1.お望みの麻酔記録の様式に印刷することができる。
- 2.薬物投与集計や時刻およびコメントなどは、薬剤師や事務方に有用。
- 3.記録された症例がそのままデータベースとして蓄積される。
- 4.すべての記録値は CSV ファイルとしてダウンロード可能。

5.JSA 台帳への転送機能を使えば、そのまま JSAPIMS に送り出せる。

モニターと接続しないで麻酔記録を作成できるソフトは、現状では今回公開のソフトだけでしょう。このチャンスを是非とも活かして頂きたいと思います。

(paperChart は故越川正嗣先生製作のソフトウェア群です。)